

2022年9月1日

文芸・ジャーナリズム論系助手・助教公募のお知らせ

早稲田大学文化構想学部 文芸・ジャーナリズム論系

文化構想学部 文芸・ジャーナリズム論系では、下記の要領で助手・助教を募集いたします。応募される方は、以下の要領をご参照の上、ご応募ください。

記

1. 採用人数：1名
2. 採用職名：助手もしくは助教
※博士学位を取得した場合は、資格が「助教」となります。
3. 任 期：2023年 4月 1日より2年間
※資格に関わらず2013年4月1日以降に本学と雇用関係があり、今回の採用日までの間に原則として半年間の雇用契約を締結していない期間がない場合は、継続雇用契約期間に上限があります。そのため、雇用期間や再任用の有無・期間について、上記任期の通りとならない場合があります（なお本学に正規生として在学期間中のTA、RAとしての雇用期間はここに含まれません）。
4. 業務内容：①文化構想学部文芸・ジャーナリズム論系
および 文学研究科現代文芸コースの運営に関わる業務全般
②文学学術院に関わる業務全般
詳細は、二次面接の際に別紙にて提示し、ご説明いたします。
助教として採用された場合、学術院長の指示により授業を担当する場合があります。
5. 就業場所・勤務時間・休日・休暇等：
 - ・就業場所 原則として早稲田大学 戸山キャンパス
 - ・勤務時間等 所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は本学規程によるが、おおよそ週2～3日（合計で14時間）、論系室で勤務。なお、専門業務型裁量労働制（みなし労働1日8時間）を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。
 - ・休日 土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時の休業日および大学創立記念日とする。但し、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。
 - ・休暇 労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日
6. 待 遇：①給与・諸手当・通勤費は本学規程による。
②退職金は支給しない。
③厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険に加入する。

7. 応募資格：①本学文学研究科博士後期課程在籍者、もしくは在籍経験者
※嘱任期間中に学籍を有している者が採用された場合、博士後期課程学生としての学費が免除となります。詳細は文学学術院事務所にお問い合わせください。
※本学助手歴のある方は再度助手として嘱任することはできません。
②創作・批評・翻訳等、文芸に興味を有する者
③文芸・ジャーナリズム論系の教育内容と、応募者の専門が合致している者
④PCの操作および一般的な事務処理能力に秀でている者
8. 提出書類：①履歴書・研究業績一覧（履歴書にはメールアドレスを明記すること）
（下記 URL から大学所定の「早稲田大学教員応募用履歴書」（「研究業績を含む」）をダウンロードしてください）
http://www.waseda.jp/flas/application_form/
②主要研究業績の抜刷りまたはコピー（3点以内・各1部）
③文芸・ジャーナリズム論系の助手・助教としての抱負（A4判1枚程度）
※提出書類は原則として返却いたしません。
※応募書類は本公募の用途に限り使用します。正当な理由なく個人情報等を第三者へ開示、譲渡、貸与することは一切ありません。応募書類につきましては選考終了後に破棄いたします。
9. 書類提出先：〒162-8644 新宿区戸山 1-24-1 早稲田大学文学学術院事務所
（応募書類の表に「文芸・ジャーナリズム論系助手・助手応募書類在中」と朱書きし必ず「簡易書留」で郵送すること）
10. 応募締切：2022年9月28日（水）必着
11. 選考手順：書類審査（第一次選考）を通過した者には、10月3日（月）までにメールにて面接（第二次選考）の場所等の詳細を通知する。
12. 面接予定日：2022年10月9日（日）
- 13 その他
- (1) 早稲田大学は、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を推進しています。
教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニティ、信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。
- (2) 早稲田大学キャンパス内は指定屋外喫煙場所を除き、全面禁煙です。

以 上